

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年12月1日（火）9：00～9：50

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他6名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、資料に基づき、機構の有する施設に係る審査の進め方について説明があった。

規制庁からは次の指摘をした。

- ・資料1-1の「非常用換気設備を止める条件」について、BDBA対策の全体像を整理し、整合性のある説明をしてもらう必要がある。審査担当にも伝えているが、次回会合で議論を終わらせるよう協力してほしい。
- ・資料1-2に関して、設工認その13は分割のうち最後の申請であることから、NSRRの対応を踏まえて抜け漏れの確認をする必要がある。どのような確認を行ったか、また、品証の観点からどのような体制で確認を行ったかについて、まず全体像を示してほしい。
- ・資料2に関して、審査対応体制を強化いただき感謝する。引き続き、審査が円滑に進むよう協力してほしい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料

資料1-1 JRR-3の事故収束シナリオ

資料1-2 JRR-3の運転再開に向けた準備状況について

資料2 大洗廃棄物管理施設の許認可審査の強化

資料3 原子力規制庁研究炉等審査部門等におけるJAEA許認可審査上位案件（案）